



府県名	海文化（伝統行事名）	伝統行事の内容
愛媛県	URL: <a href="https://www.city.matsuyama.ehime.jp/kanko/kankoguide/rekishibunka/bunkazai/ken/gogosimano_funaodori.htm">https://www.city.matsuyama.ehime.jp/kanko/kankoguide/rekishibunka/bunkazai/ken/gogosimano_funaodori.htm</a>	礼行事として行われるが、豪快勇壮な船踊りは、独自の地方芸能として極めて珍しい存在である。
	北条鹿島まつり（松山市）  北条商工会 TEL：089-993-0567 E-mail： hojo-shokokai@bell.ocn.ne.jp	北条の春の恒例の祭典「北条鹿島まつり」は、愛媛県指定無形民俗文化財の指定を受けている伝統の「権練踊り」など、勇壮な海の男たちによる海上絵巻が鹿島周辺で繰り広げられるほか、年に一度の「大注連縄の張替え」も鹿島海上の伊予二見（玉理・寒戸）で行われる。また、さまざまなイベントも盛りだくさんである。 鹿島まつりは、毎年5月3日、4日に行われ、北条沖にある夫婦岩の「大注連縄の張替え」は、海上安全・五穀豊穰・大漁を祈願し翌日行われる。
		

## 広島湾

府県名	海文化（伝統行事名）	伝統行事の内容
広島県	邇保姫（にほひめ）神社の獅子舞(広島市)  ※広島市指定重要無形文化財  邇保姫神社獅子舞保存会	この獅子舞は、広島湾内に浮かぶ海村であった仁保島の総鎮守（邇保姫神社）と、仁保島の主要な産業であった漁業に携わっていた氏子に伝わった祭礼行事である。近世以降の干拓により陸続きとなった後も途絶えることなく、瀬戸内海沿岸の伝統行事として現在に継承されている。 伝承によると、今から約400年前に仁保島一帯に悪病がはびこり、村人は大いに苦しんだ。色々手立てを尽くしたが、悪病は止まなかった。万策尽きた村人は、想像上の霊物である「獅子が悪霊を食い払い救ってくれる」との古くからの言い伝えに従って、獅子を神社に奉納し、これを持ち出して家々の邪気を祓ったところ、悪病はたちどころに止んだという。以来、悪霊の取り払い、心身の清めに「獅子の祓い」としての獅子舞が行われる。なお、社蔵の獅子頭の一つに「延享四（1747年）卯天二月吉日」の墨書銘がある。 氏子の家々を一軒一軒回る「みそぎ（はらえ）」行事は、邇保姫神社の例祭日（10月29日の直前の日曜日）の前、約10日間、神輿渡御の道行きの先導は、例祭日に行われる。
		
	阿多田神社秋季例大祭（大竹市阿多田）	阿多田島で毎年10月13日に行われる「豊漁」を祈願するお祭り。前夜祭の12日夜には、阿多田神社にて「お湯立ての儀式」が行われ、大釜の中の「御

府県名	海文化（伝統行事名）	伝統行事の内容
広島県		<p>幣（ごへい）を立てたワラの輪」がくるくるとまわれば、次の年も豊漁になると信じられている。13日のお祭り当日には、「おしこみ」と呼ばれる、大漁旗をつけた二隻の船が息をぴったり合わせて阿多田の港を三回まわる行事が行われる。ちなみに「おしこみ」とは、幸せをおしこむ・豊漁をおしこむという意味があるらしい。</p>
	<p>朝鮮通信使再現行列（呉市下蒲刈町）</p> <p>連絡先：公益財団法人蘭島文化振興財団 TEL：0823-65-2029 E-mail：info@shimokamagari.jp</p>  	<p>下蒲刈町には江戸時代に広島藩の海の窓口として関所（海駅）が置かれていた。徳川幕府と友好関係にあった朝鮮王朝からの使節団である朝鮮通信使は、この地に11回立ち寄って盛大なもてなしが行われ、その歓待ぶりは「安芸蒲刈御馳走一番」と称された。朝鮮通信使の一行は、沿線の各藩の接待を受けたが、1682年に將軍から「どこの藩の接待が良かったか」と問われた際、随行の対馬藩主が「安芸の蒲刈御馳走一番」と絶賛した。この言葉を記念して、朝鮮通信使資料館は「御馳走一番館」と命名された。この御馳走一番館には、朝鮮通信使饗応料理の「七五三膳」「三汁十五菜膳」の模型が展示されています。これは、徹底的な資料集めと時代考証を重ね、2年間かけて完成したものである。資料に則った材料で当時のままに料理を作り、それを型にとって本物そっくりの模型に仕上げた。1711年、使節団500人を迎えた際のもてなしの材料表には、「白米877升、酒289升、卵2272個、キジ300羽、ダイコン1,117本」などの記述があり、大歓待の様子がうかがえる。その当時の行列の再現が毎年10月に、下蒲刈で行われる。総勢290人による通信使行列、ステージイベント、抽選会などが催される。観客数は5,000人を超える大きなイベントである。</p>
	<p>くらはし遣唐使船まつり（呉市倉橋町）</p> <p>くらはし遣唐使船保存会 連絡先：呉市役所倉橋市民センター TEL：0823-53-1111 E-mail：kurasis@city.kure.lg</p>	<p>「日本の渚百選」に選ばれた呉市倉橋町の「桂浜」は、かつて遣唐使が中国への往来の際に立ち寄った場所とされ、万葉集にも詠まれている。また、古くから造船が盛んであった倉橋は遣唐使船をも造っていたとされることから、桂浜の東端にある「長門の造船歴史館」には、平成元年に広島県主催で開催された「海と暮らしの博覧会」の際に建造された復元遣唐使船が展示されている。</p> <p>この美しい海浜と木造船技術の歴史を伝承するべく、平成20年から「くらはし遣唐使船まつり」を開催している。毎年7月に開催され、イベント当日は「長門の造船歴史館」の無料開放、遣唐使の仮装行列、地元小中学生等によるステージイベント、地元産品の販売を行うが、このまつりの圧巻は3,000発の打ち上げ花火である。桂浜の目の前の海</p>

府県名	海文化（伝統行事名）	伝統行事の内容
広島県		<p>から打ち上げ、観衆の頭上で大輪が大轟音とともに炸裂し、花火のカーテンが降り注ぐその迫力。さらに、桂浜の湾の背後には、国会議事堂を造った議員石として有名な倉橋の花崗岩を切り出した石切場がそびえており、これが轟音を跳ね返すスピーカーの役割をし、他の花火大会では味わえない迫力満点の花火大会となっている。</p> <p>また、まつりの翌日に実施する（平成 24 年で第 13 回目の）「くらはしアクアスロン大会」を共同開催イベントに位置づけ、夜の天空ショーと共に、日中の桂浜の綺麗な海、瀬戸内海を代表する美しい海岸線をコースとして競技し、海文化のPR・継承を目的に、住民の手作りで運営している。</p>
	<p>厳島神社管絃祭（廿日市市宮島町）</p> <p>連絡先：厳島神社 TEL0829-44-2020</p> <p>URL：宮島観光協会のページ <a href="http://www.miyajima.or.jp/event/event_kangen.html">http://www.miyajima.or.jp/event/event_kangen.html</a></p> 	<p>管絃祭は旧暦の6月17日大潮の日に、世界遺産である宮島厳島神社で御神体の海上渡御を目的として、10日間に渡り繰り広げられる、瀬戸内海を代表する海の祭りである。平安時代、貴族たちは池や河に船を浮かべて管弦の遊びをしていた。管絃祭はそれが海上渡御となったもので、平清盛が信仰する厳島神社に移し、神事として行うようになったと言われている。大阪天満の天神祭、松江のホーランエンヤと共に日本三大船神事のひとつである。</p>
	<p>坂八幡神社秋祭りの寄進物「曳船」（坂町）</p> <p>坂八幡神社 広島県安芸郡坂町 坂東二丁目 8-1</p> 	<p>毎年 10 月に行なわれる坂八幡神社秋祭りに、横浜地区から寄進される曳船は、古くから続く伝統行事で、ほら貝と曳船音頭で盛りあげながら、波穏やかな風や怒濤にもまれて御座船が航海する様子を揃いの法被姿の若者達によって繰り広げられる勇壮な行事である。</p>